



糸魚川大火災で！

—西日本防災システム

2017 07 01

糸魚川大火災の火元となったラーメン店！

NBS 119

糸魚川市で昨年12月に120棟が全焼した大火の火元となったラーメン店の元店主の73歳男性を業務上失火容疑で新潟地検高田支部に書類送検したようです。

送検容疑は昨年12月22日午前8時半頃、元店主はラーメン店内の厨房で、鍋をガスコンロにかけたまま外出し、午前10時頃空だき状態となった鍋から出火し、木造2階建ての同店と近隣の店舗兼住宅など計**147棟**を焼失させたとしています。

県警によりますと、男性店主は「開店前に火をつけたコンロに鍋をかけたことを忘れて自宅に帰った」と容疑を認めているそうです。「被災した方には申し訳ない気持ちでいっぱい」などと話しているそうです。

火災はJR糸魚川駅前の木造密集地約40,000㎡を焼き、鎮火までに約30時間を要し、17人が軽傷を負いました。



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ 